

「日本」のはづくれ野郎現る
臨時ニュースを申し上げます。
（とは
いっても前号に載せるつむりが、あた
ふた早朝ワープロ打ち眠気まなこで忘
れちまたのよー本田庄司）去る4月
3日、スタジオエッグの寺崎組新聞編
集会議の席上、組専属イラストレータ
ーの80号税金杉本氏より爆弾発言が
飛び出した。ななんなんと・・・・
「仕事を辞めて4月から1年間オース
トリアに行つてくっけん」
この発表に一座は騒然、幸いなことに
編集長でいくが仕事で不在だったため
プロレス乱闘騒ぎまでには発展しなか
ったものの、そりやあもう大騒ぎさあ
（ほとんど死語）。

杉本氏の説明によると、3月いっぱい
で仕事を辞め、4月16日にはワーキ
ングホリデイビザを持って日本を発つ
との事。初めの一ヶ月位はシドニーに
ホームステイし、殊勝な事にも英語学
校に通うそうだ。その後、大陸をあて
もなく放浪し、夏はニュージーランドに
避暑だって、バロ。

ファンレター待てます

c/o

T.O.M.R.TAKASHI
SUGIMOTO
PEARLBRIDGE
INTERNATIONALE
Suite 305/107
Walker Street
North Sydney
NSW 20060
AUSTRALIA

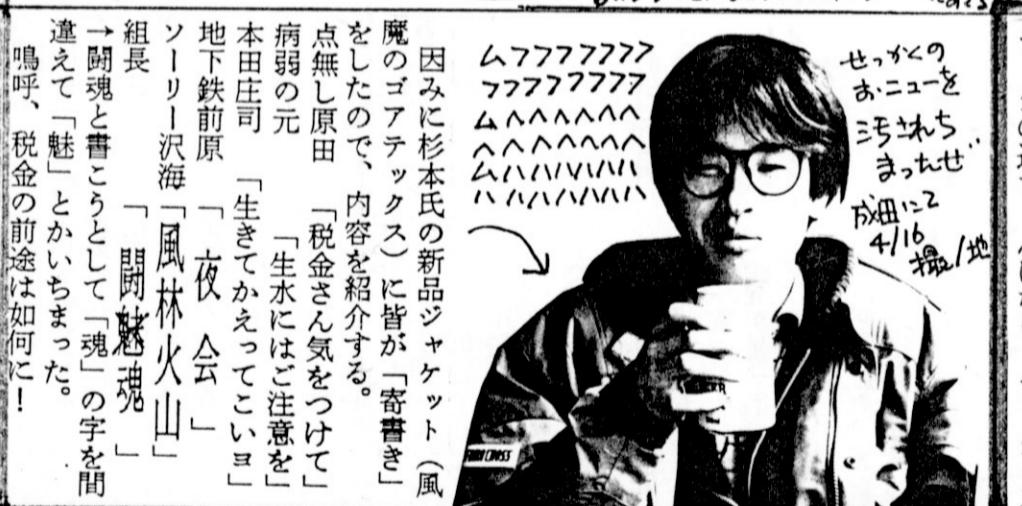
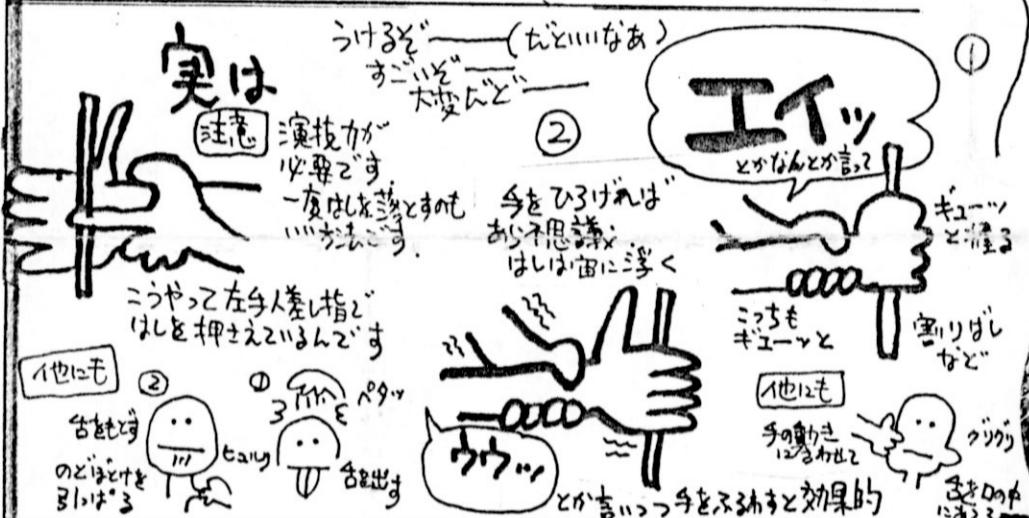


税金杉本、一年間 オーストラリア 放浪の旅



寺崎組新聞

発行所 寺崎組新聞社
東京社 0423-25-0350
〒185 東京都品川区東元町3-29-7



秋山父。さあこれから九州他からどんどん来る。だろうとワクワクしながらビデオを待機していたが、こない。ときどき物珍しさに車内から顔を覗かせている輩に「見てくんじやねえよお」とあくまでも小声でいいながらひたすら待つ。しまいには「寝るかあ」という声も…。それを待つましたとばかりにいきなりスッ飛してきたのは只今トラックの運ちゃんになりトラックもス

ヘルメットの顔を覗いてみると、オーバーヘッドの顔を覗いてみると、オーバーヘッドの顔を覗いてみると、オーバーヘッドの顔を覗いてみると、オーバーヘッドの顔を覗いてみると、オーバーヘッドの顔を覗いてみると、オーバーヘッドの顔を覗いてみると、オーバーヘッドの顔を覗いてみると、オーバーヘッドの顔を覗いてみると、オーバーヘッドの顔を覗いてみると、オーバーヘッドの顔を覗いてみると、オーバーヘッドの顔を覗いてみると、

第三十一回野宿宴会 鞍岳で二鍋が対決!



後に早速九州という強行突破の組長、澤海氏、坂戸健司氏、撮影他手伝いの山下氏、以上組員7名スタッフ4名、計11名により0℃近くになったここ鞍岳野営場で焚き火ガンガン鍋グツグツの大宴会となつたわけである。

今回の組会では、スタッフ側から「トン汁」、組員側から「鞍岳鍋」(園芸職人自作のさといも等無農薬野菜がないため)という二大豪華鍋が出そろい皆々ほくほく顔。ただ、「鞍岳鍋」端から聞いてると頭をひねりそうな討論がしばしば続いていた。その鍋に引き続いてたのは、持田氏が持つてきた見事な鍋。早速、刺身身と焼き火焼きたなり冷えた体に暖かい食料が各自の胃袋に入つていつた事であろう。しか

ての参加はあるジエーム・シュ杉本(税務署)の弟、一家そろってSERROW弟(名は伸二)。そろそろ日も傾いて薪集めも終えて、さあ乾杯というときに今回最後の参加者、島根野宿人・道田。そして、オーストラリアから帰国れさまのBMW100GS二十八号持田。そして、オーストラリアから帰國

ての飛ばしている九州支部長XR永田。テント設営もそこまでがんばり出でて開いた28号持田はワンマンショットに運ばれ、しまいにはシユラフに入始めた。お次に轟音なびかせて真紅の800ccにまたがり、バイクもでかい

園芸職人SX松田。テント設営もそこまでがんばり出でて開いた28号持田はワンマンショットに運ばれ、しまいにはシユラフに入始めた。お次に轟音なびかせて真紅の800ccにまたがり、バイクもでかい

本人もデカイ、ちなみに三脚もデカイなんもかんもデカイDR山口の宮崎。仕事を終えて福岡から高速ブッ飛ばして来たか」と愛想つかしてくるかも。さて、鞍岳野営場に一番乗りを果たしたのは、東京からフェリーでどんぶりこ、関東圏からはこいつだけという蘇五岳も二年ぶりのこの珍客に「また

こと待つっていたのである。雄大な阿

え、冷え込みは厳しく本格的な春はまだかと思わせる程。しかし組員はそれ

を始め、それに酒がぐびぐびはいった。翌日はやはり冷え込んだが天気も悪くみんな一応無事に夜を明かした。このあとそれぞれの旅にでる組員、また家路につく組員。愛馬にまたがり疾走していく様はさながら孤独な旅人、哀愁の色を帯びていた。(気障でんな)

の顔を見るまでは正直心配であった。翌日はやはり冷え込んだが天気も良くみんな一応無事に夜を明かした。トに運ばれ、しまいにはシユラフに入れた。翌日はやはり冷え込んだが天気も良くみんな一応無事に夜を明かした。この夜はあまり歌も出ず、いつもの組員で見事に組長の肩に担がれてテン

し、そのあと歌らしい歌も続かずやけになつた28号持田はワンマンショットに運ばれ、しまいにはシユラフに入れた。お陰で見事に組長の肩に担がれてテン

し、そのあと歌らしい歌も続かずやけになつた28号持田はワンマンショットに運ばれ、しまいにはシユラフに入れた。お陰で見事に組長の肩に担がれてテン

し、そのあと歌らしい歌も続かずやけになつた28号持田はワンマンショットに運ばれ、しまいにはシユラフに入れた。お陰で見事に組長の肩に担がれてテン

し、そのあと歌らしい歌も続かずやけになつた28号持田はワンマンショットに運ばれ、しまいにはシユラフに入れた。お陰で見事に組長の肩に担がれてテン

し、そのあと歌らしい歌も続かずやけになつた28号持田はワンマンショットに運ばれ、しまいにはシユラフに入れた。お陰で見事に組長の肩に担がれてテン

